

和歌山県

生協連ニュース

No.26



和歌山県生活協同組合連合会

TEL.073-474-9095 FAX.073-474-8649

<https://www.wakayamakenren.jp/>

2026年度の活動紹介

和歌山県生協連第36回通常総会を開催しました

6月23日、わかやま市民生協E*KAOホールにて和歌山県生協連第36回通常総会を開催しました。代議員の出席は、実出席20人、書面出席15人でした。通常総会は、松永理事による開会宣言のあと、阿部会長理事の挨拶で始まりしました。続いて、ご出席いただいた7名のご来賓より、和歌山農業協同組合中央会専務理事の前田年史様、和歌山県労働者福祉協議会常務理事の元木幹雄様、日本生協連関西地連事務局長の桑島航様よりご挨拶をいただきました。また、和歌山県知事の宮崎泉様からのご祝電・メッセージを議長より紹介しました。各団体、全国の各生協・生協連から40通いただき、代議員に配布し紹介しました。

全議案を賛成多数で可決し、2026年度の活動方針や予算が決まりました。



役職員研修会で立命館大学国際平和ミュージアムを訪れました



5月7日、毎年恒例の役職員研修会の行先を今年変更しました。京都市にある立命館大学国際平和ミュージアムを3生協23人で訪れ、戦時下で暮らした馬場 央（ばば・ひで）さんに当時の暮らしについて話をききました。国が決めた「ぜいたくは敵だ」などの標語を国民全員が噛みしめて日々をおくったこと、食べ物がなく苦労したことなどを話してくれました。最後に馬場さんは、他人を思いやることが戦争を起こさない平和な世界をつくることにつながると締めくくりました。また、バスの中では、4月にNPT再検討会議が開催されたニューヨークに行ったわかやま市民生協の高野理恵常任理事より報告いただきました。

和歌山大学寄附講義

和歌山県労働者福祉協議会が進める「2026年度和歌山大学経済学部寄附講義」に、和歌山県生協連として3講義を受けもち、以下の内容ですすめました。いずれも45人以上の学生が参加し、生活協同組合について学んでもらえるよい機会となりました。

6月18日(木) 日本協同組合連携機構（JCA）「協同組合の基礎知識」

6月25日(木) 和歌山中央医療生協「医療福祉生協入門」

7月2日(木) わかやま市民生協「生協の社会的役割の発揮」



役職員研修会「生協法の学習会」



7月18日、2007年生協法的大幅改正後、5年をめぐりに改正が行われてきた「生協法」。今回2028年をめぐりにした生協法の改正要望を4月に厚生労働省に提出したことから、現在の生協法の内容や問題点や、日本生協連でとりまとめた「生協法改正要望」について、7生協64人が学びました。

「生協法改正要望」では、地域コミュニティにおける公益的性格を法律上も明らかにすること、事業に関する規制緩和では、社会的な課題に対応するための員外利用規制の緩和や、都道府県単位の区域や職域の規制緩和、年1回とされている自由脱退期日と出資金返還を柔軟に設定できることや、共済代理店の拡充などの要望のポイントについて説明いただきました。

和歌山県 生協連合会の 会員生協 2025活動紹介

*数値は2026年3月現在

*泉南生協、コープ自然派おおさかは、和歌山県内の数値です。



和歌山中央医療生活協同組合

- 組合員数：21,620人
- 総事業高：4,054,479千円
- 住所：和歌山市有本143-1

和歌山中央医療生協は、医療・介護・福祉事業を軸に、多世代が集う居場所づくりや、ともに学び合う人づくりを通じて、地域住民の命と暮らしを守る土台の強化に取り組んでいます。

2025年度は、組合員の班会・サークル活動が年間約1400回開催され、「スマホ教室」や「健康マージャン」「カフェ」「モルック」など、学びと趣味・生きがいに繋がる活動がさらに地域で広がりました。また、「フードバンク & 暮らしのなんでも相談会」や「こども食堂」を他団体と協力して開催し、生活困窮者への支援と子どもの居場所づくりにも取り組んでいます。



和歌山県学校生活協同組合

- 組合員数：7,680人
- 総事業高：69,315千円
- 住所：和歌山市湊通丁南1-6-2
イキシアわかやま 1階

和歌山県学校生協は、県内の公立学校の教職員のために、より良い商品を安く提供し、教職員のくらしと教育活動をサポートするために、チラシ媒体による供給事業と生活全般に渡るサービス関連事業等を行っています。学校生協を利用してもらう人が減少しているため、今年度は、組合員の住宅支援事業として、提携ハウスメーカーの協力のもと合同住宅相談会を開催し好評を得ました。また和歌山県子ども食堂応援ネットワークのサポーター登録を行い、組合員の協力も得ながら子ども食堂支援に力を入れたいと思います。今後とも教職員の教育活動やライフサポートを中心に行っていきます。



和歌山県労働者共済生活協同組合

- 組合員数：88,851人
- 総事業高：8,010,526千円
- 住所：和歌山市美園町5-10-3

和歌山労済（こくみん共済 coop 和歌山推進本部）は、「みんなでたすけあい、豊かで安心できる社会づくり」という理念のもと、幅広く共済事業を展開しています。

2025年度は、7才の交通安全プロジェクトの取り組みとして「横断旗4,795本」を寄贈し、こどもの成長応援プロジェクトの取り組みとして「なわとび・長なわ160本」を寄贈しました。今後もこどもの安全・成長を応援する取り組みをすすめていきます。



わかやま市民生活協同組合

- 組合員数：102,110人
- 総事業高：14,183,503千円
- 住所：和歌山市太田三丁目10-10

わかやま市民生協は、2030年ビジョンである「つながり、ひろがる、豊かなくらしへ〜持続可能な地域社会をめざして〜」の実現に向けて社会的役割を果たす活動の推進をすすめています。

2026年4月、ニューヨークで開催された核不拡散条約（NPT）再検討会議に、被ばく者をサポートし、共に活動を行うため、わかやま市民生協から代表を派遣しました。

引き続き、様々な活動をとおして安心して暮らせる地域社会づくりに取り組めます。



紀の国医療生活協同組合

- 組合員数：1,163人
- 総事業高：434,435千円
- 住所：和歌山市今福2-1-16

紀の国医療生活協同組合は創立以来、組合員及びその家族の方はもちろん、地域住民への医療と福祉の提供を中心とした事業を展開しています。

また今年度より、外国から来られて地域に住まわれている方々との交流の場を提供したり、医師である理事長による栄養教室も実施予定です。

従来から展開している陶芸教室や年末のもちつき大会といった恒例行事と共に続けていきたいと考えています。



和歌山大学消費生活協同組合

- 組合員数：4,596人
- 総事業高：395,121千円
- 住所：和歌山市栄谷930

和歌山大学消費生協は、学生・教職員の皆さまの大学生活を支えるため、食堂・購買・書籍・住まい紹介など、幅広い事業を行っています。また、パソコンや教材の販売、学生生活を支える各種サービスの提供に加え、大学や地域と連携した取り組みも進めています。学生の声を大切にしながら、より便利で充実したキャンパスライフの実現を目指すとともに、学生が主体となった活動や、地域とのつながりを深める取り組みにも積極的に力を入れています。



和歌山県立医科大学生活協同組合

- 組合員数：1,935人
- 総事業高：217,467千円
- 住所：和歌山市紀三井寺811-1

和歌山県立医科大学生活協では、医学・看護・薬学を学ぶ学生の学修とキャンパスライフを、さまざまな事業やサービスを通じてサポートしています。各分野の専門書や電子書籍を組合員価格で提供するほか、パソコンや教材、実習に必要な商品も取り揃えています。また、学内食堂では栄養バランスに配慮した食事を提供しています。組合員一人ひとりの声を大切に、各学部のニーズに応じたサービスを通じて、充実した大学生活を支えています。



和歌山高齢者生活協同組合

- 組合員数：4,020人
- 総事業高：369,032千円
- 住所：和歌山市直川565-7

「人生の完成期、輝いて生きる！」を掲げ、地域で高齢者の居場所づくり活動や、身の回りのお困りごとに対応するお助け隊活動、介護、障害福祉事業に取り組んでいます。

近年は「賭けない、飲まない、喫煙しない」が基本の健康麻雀に取り組んでおり、男女問わず新たな仲間づくりにもつながっています。今年度は「明日の人生設計事業」と題し、終活講座や高齢者の仕事おこしなどに挑戦してまいります。



泉南生活協同組合(オレンジコープ)

- 組合員数：1,742人
- 総事業高：712,893千円
- 住所：大阪府泉南市信達岡中1489-10

■オレンジコープは賃貸型の介護付き住宅と分譲型介護付き住宅、サービス付き高齢者向け住宅を大阪府と和歌山県で合計11棟運営しています。総室数は1077室。入居者は1000名を超えています。質の高いサービスや美味しい食事が多くの入居者に支持されています。

■サービス付き高齢者向け住宅「おひさま阪南」は2026年3月に竣工しました。早期満室をめざして、見学希望者を対象に食事付き見学会を開催しています。相変わらず関心は高く、多くの資料請求や見学希望の問い合わせがきています。



メルスィー生活協同組合

- 組合員数：6,313人
- 総事業高：549,262千円
- 住所：和歌山市湊1850番地

メルスィー生協は、職域生協として日本製鉄関西製鉄所構内で働く従業員の福利厚生施策の一環として、1952年（昭和27年）に設立され、来年（令和9年）2月に75周年を迎えます。

当組合の事業活動は、購買（職域売店）事業・自動販売機事業の運営・管理などです。

職域構内売店は本部売店をはじめ9か所（和歌山：7売店、堺：1売店、海南：1売店）にて運営しております。組合員の皆様方のために、「製鉄所をもっと便利に」をモットーに「より安く親しみのある」店づくりを目指し役職員一同、日々業務に励んでいます。



生活協同組合コープ自然派おおさか

- 組合員数：9,243人
- 総事業高：1,281,973千円
- 住所：和歌山県和歌山市岩橋998
(本部：大阪府茨木市島1丁目12-37)

コープ自然派おおさかは誰もが国産オーガニックを食べられる社会を目指すべく国産材料・無添加・農業の使用していないものを取り扱っています。子どもたちの未来のために国産派宣言を基本スローガンに掲げ日本の農業を守り、地域の食文化・自然環境・生き物を守る活動をすすめています。すべての商品に原材料を表示し、情報公開を徹底しています。食の安心・安全をきちんと満たした『おいしい』の輪をひろげていきます。

今後の活動紹介

第36回 和歌山県生協大会

日 時：2026年12月1日(火)
13:30～16:00

記念講演 「協同組合のアイデンティティに関するICA声明」改定と背景（仮）
講師：前田 健喜 氏

一般社団法人日本協同組合連携機構 CI・国際・研究チーム部長 主席研究員

場 所：わかやま市民生協本部2階 E*KAOホール
(和歌山市太田三丁目10-10)

参 加：無料

※詳細についてはホームページにて、ご案内します。

ホットな 消費者 見守りニュース114号

～消費者被害にあわないための最新情報をお届けします!～

ホットな消費者見守りニュース 114号

「分電盤の点検に行きます」という電話にご注意!

アドバイス

- 電話で分電盤の無料点検を勧められ承ると、点検後に「漏電して火事になる危険性がある」等と分電盤の交換に伴う高額な請求を迫られたという相談が多く寄せられています。
- 分電盤の無料点検とは
分電盤は4年に1度電力会社と登録調査機関による無料の法定点検がありますが、事前にはがきなどの書面で日時が知らされます。また、作業員がその場で設備交換等の契約を持ち掛けることはありません。
- 交換してしまってもクーリング・オフできる場合があります
電話勧誘販売や訪問販売は契約書を受け取ってから8日間はクーリング・オフできます。

相談窓口
買物や契約などのお困りごとや心配なことは
消費者ホットラインへご相談ください。
(最寄りの消費生活相談窓口等につながります)

188

和歌山県消費生活センター

和歌山市手平2丁目1-2
県民プラザ和歌山ビッグ愛8F
電話：073-433-1551
FAX：073-433-3904
(月～金)9:00～17:00
(土・日)10:00～16:00(電話相談のみ)
(祝日・年末年始を除く)

和歌山県消費生活センター 紀南支所

田辺市朝日ヶ丘23番1号
県西牟婁総合庁舎内
電話：0739-24-0999
FAX：0739-26-7943
(月～金)9:00～17:00
(祝日・年末年始を除く)

※短縮ダイヤル☎188でもお近くの
相談窓口につながります。

和歌山県生活協同組合連合会 協同組合がよりよい社会を築きます

- 和歌山中央医療生活協同組合
- わかやま市民生活協同組合
- 和歌山県学校生活協同組合
- 和歌山県労働者共済生活協同組合
- オレンジコープ(泉南生活協同組合)
- 紀の国医療生活協同組合
- 和歌山大学消費生活協同組合
- 和歌山県立医科大学生活協同組合
- 和歌山高齢者生活協同組合
- メルシー生活協同組合
- 生活協同組合コープ自然派おおさか